

事業報告書

一般社団法人 豊川青年会議所

2020年度 理事長

氏名 前原 恵介



<本年度を振り返って>

入念にやるべきことを熟考し、理事長所信を書き上げたが、3月より新型コロナウイルスの影響でやることを大幅に見直さざるを得なかった。ウイルスなので梅雨の時期や真夏には無くなるのではないかという希望的観測も期待外れに終わってしまった。

しかし、残念なことばかりではない。以前から考えていたオンラインでの会議を行うことで時間短縮や移動時間の削減を図ることができ、今までの良さの再確認と新たな手法との使い分けを考え実行することができた。これは次年度以降、新型コロナウイルスの影響が無くなっても生かすことができる部分である。事業実施においても計画通りにできないところで、理事メンバーから自発的に事業を発案し実行、結果的にメディアにも数多く取り上げられることができた。そして、それらの事業を行うにあたり公官庁関係と例年以上に関わりを持つことができ、警察署から信頼していただき、事業を依頼されるという極めて稀なケースもあった。

また、本年度は19名の卒業生を輩出するという一方で、会員拡大に危機感を持っていた。コロナ禍で例年とは違い、多くの人々を集めて事業を行うことができず、仮入会メンバーに青年会議所活動の醍醐味を見せることができなかつたため、何人正会員になってくれるのだろうかと不安で仕方なかったが、結果的に19名の新入会員が入会を決意してくれた。これは担当委員長がこのような難しい状況でも仮入会メンバーにコンタクトを取り続けた結果であり、この状況下でここ数年のトップクラスの新入会員数は誇れる結果だと思う。

<むすびに>

当たり前のことが当たり前ではないということを痛感した1年であった。ただ、そのような中でも前向きに頑張ってくれたメンバーに大変感謝している。やりたかったことができなくなり、やる気も失せてしまう可能性がある中で、自発的に現状やるべき課題を発掘し、議案書を作成し実行していく。そのような理事メンバーの行動こそ、本来の青年会議所のあり方であり、今後もそのような行動ができる組織であってほしいと願う。